

## 10月29日（月）朝礼の話

先週は、とても行事の多い一週間でした。火曜日には、先ほど表彰した「サッカー・バスケット競技会」が、木曜日には、今度の4月に草平小学校入学予定の園児の就学時健診が行われ、金曜日には3年生が社会見学で「レゴランド」に出かけました。

競技会では、高学年の選手の皆さんが一生懸命にプレーする姿を見ることができました。本番で、練習の成果を発揮することの難しさも知った子もいたと思います。とてもよい経験だったと思いますので、これからの学校生活にぜひ生かして欲しいと思います。

就学時健診では、6年生のみなさん引率や案内などのお手伝いをありがとうございました。1年生のみなさんは、ちょうど1年前に草平小学校でこの健診を受けたと思います。早いものであれからもう1年経ったのです。4月になれば、お兄さん、お姉さんになります。いつまでも1年生の気分ではられませんよ。これから5カ月、『自分のことは自分です、人に迷惑をかけない、時間を守って行動する』当たり前だけど大切なことがきちんとできているか、もう一度自分自身を振り返ってみましょう。「まだ十分できていないなあ」と思う人は努力して、2年生になる準備をしましょう。

さて、これは何でしょう？ハロウィンですね。ハロウィンとは、10月31日に行われる、『収穫祭』—秋に収穫した食べ物への感謝のお祭り—のことです。外国では、かぼちゃの中身をくりぬいてランタンにしたり、仮装して近くの家にお菓子をもらいに行ったりします。

日本のハロウィンというと、本来の収穫祭という意味合いはほとんどなく、仮装ばかりが取り上げられ、この週末もあちこちでハロウィンの仮装イベントが行われました。

今朝のニュースで、深夜の渋谷、ハロウィンの仮装で盛り上がった若者が道路にあふれ、通行しようとしていて立往生した軽トラックを、運転手が乗ったままみんなで横倒しにし、トラックの上にのぼるという事件の映像が流れていました。

先生はとても悲しい気持ちになりました。そして、「集団心理」の怖さを感じました。この渋谷の事件も、きっと一人だったらしないと思います。確実に犯罪ですから。しかし誰かが面白半分に「やろうぜ」と軽い気持ちで言ったことに、周りが調子に乗って同調し、このような事態になったのだと先生は思います。

このことを、みなさんの普段の生活に重ねてみてください。何かやっちゃって、先生に指導された時、「〇〇君もやったし」「〇〇さんにやれと言われた」とか言い訳をしている人を見ます。しかし、これは理由になるのでしょうか？もちろん一緒にやった人もやれといった人も確かに悪いでしょう。でも、どんな理由があろうと、やっちゃったのは自分自身です。悪いことは悪い、やっていけないことはやってはいけないのです。それは、当たり前のことです。

厳しい言い方をしますが、学校から一歩外に出れば、誰も守ってくれません。やってしまったという事実があれば、内容によっては警察に突き出されます。けがをさせたり物を盗ったりすれば、それなりの責任をとらなければなりません。みなさんは未成年なので、お父さんやお母さんがその責任を負うことになり、家族にも迷惑をかけてしまいます。

やっていいこと、悪いことの判断、そして実際に行動に移すことの判断は、自分自身が決めるのです。友達に言われて、友達もするから。そんな理由で行動するのではなく、自分自身が正しいと思う判断と行動ができる草平っ子であってほしいと思います。

よく考えてから行動するように、意識しましょう。